

函館市シェアサイクル実証実験に係る
公募型プロポーザル審査結果について

令和7年2月21日に開催した審査委員会（ヒアリング審査）において、評価基準に基づき審査を行った結果、評価合計点の最も高い者1者を受託候補者とし、次のとおり決定しました。

公表します。

1 企画提案者 北海道エネルギーコンソーシアム

2 受託候補者 北海道エネルギーコンソーシアム

代表者 北海道エネルギー(株) 代表取締役社長 木村 信広

構成員 OpenStreet(株) 代表取締役社長 工藤 智彰

3 評価点

審査項目		配点	受託候補者
運営能力・実績等に関する項目	シェアサイクル事業に関する国内実績が1年以上あり、他の自治体とシェアサイクルに関する社会実験（実証実験）、本格実施又は連携協定等の実績があるか	60	58
	本市を訪れる観光客の主な居住地である首都圏や関西圏などで、一定の利用会員数等が確保されているか	30	29
	財政状況が健全であり、シェアサイクル事業単独で一定の採算性が確保される見込みがあるか	60	44
運営設備に関する項目	自転車のデザイン、操作性、安全性、耐久性は適切か	60	50
	サイクルポートのデザイン、安全性、耐久性は適切か	60	44
	加入する保険の内容が適切であるとともに、自転車およびサイクルポートについて、適切な点検やメンテナンスが実施可能か	30	26
利用方法・利用料金に関する項目	誰もが利用可能で、利用しやすいシステムとなっているか	60	48
	利用者が利用しやすい料金設定で、多様な決済方法が用意されているか	30	28
	訪日外国人が利用しやすいように多言語対応となっているか	30	28
	利用者への広報や、交通ルール等の周知啓発を実施できるか	30	24
運営体制に関する項目	事故・トラブルなど緊急時の対応、問い合わせ、苦情等の対応体制が確保されているか	60	50
	事業者は市内に本社在中もしくは事務所等を有しているか	60	58
	個人情報の管理方法および管理体制は適切か	30	27
地域連携に関する項目	実証実験の効果検証を行うためのデータ提供（利用状況、移動データ等）、および利用者へのアンケート調査結果の提供を行える計画となっているか	60	54
	サイクルポート設置候補地は、市内観光地の周遊を促す場所となっているか	60	46
	上記の他、提案者のリソースを活用した地域連携や地域貢献など、独自の優れた取組が認められるか	30	22
合計		750	636

4 審査委員会委員

植田 雅巳（北海道運輸局函館運輸支局首席運輸企画専門官）

飯野 智子（（一社）函館国際観光コンベンション協会総務ホスピタリティ委員会
委員長）

村上 修一（函館商工会議所 地域振興課長）